



○学生ワークショップ (12:15~13:45)

「大学生の挑戦！世界の目標を自分とつなげる」

「世界の目標」とは一体何でしょうか。「自分とつなげる」とは？3名の大学生の方からお話を伺って世界と自分とのつながりを見つけませんか？

ランチを食べながら皆さんで交流しましょう！
(昼食が必要な方はご持参ください)



学生の皆さん！



2016年10/30 (Sun.)

北海道大学 学術交流会館ロビーに集合!!

北海道大学サステナビリティ・ウィーク2016（主催：北海道大学）の10周年を記念して「国際シンポジウム～SDGsへ貢献する高等教育のあり方～」が開催されます。EPO北海道では、学生さんから身の回りや世界をよりよくするための取り組み紹介、そのために大学などはどうしていくべきかを学生目線から考えるワークショップを開催します！皆さんは家族や友人と将来、どのような世界に暮らしたいですか？そのために私たちや大学はどうするべきでしょうか？同世代の方とお話してみましよう！

お申込みは、
こちらから
どうぞ！→



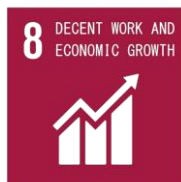
高校生、社会人の方も大歓迎です！
参加費：無料（定員30名）



○学生ワークショップ2 (14:00~16:00)

「学生目線で考えよう！ よりよい世界の未来を担う高等教育どうあるべき？」

よりよい世界や暮らしをしていくために、皆さんと身近にある大学など学びの場に何が必要でしょうか。学生の皆さんの声をシンポジウムに全体にませんか？もちろん、このワークショップだけの参加も歓迎します。



☆発表いただく皆さんのプロフィール

和田 恵さん（慶應義塾大学 総合政策学部 4年）



東京出身、在住。ゼミ長を務める蟹江憲史研究会にて、SDGs（国連・持続可能な開発目標）を中心とした環境ガバナンスを専攻。SDGs達成のための国内・国際制度のあり方に関心がある。同大学院政策・メディア研究科環境デザイン・ガバナンスコース進学予定。現在、大学キャンパス内でSDGsの普及啓発プロジェクト「キャンパスSDGs」実施中。

また、学外ではこども国連環境会議推進協会、日本青年国際交流機構、NPO法人新宿環境活動ネット、OECD Student Ambassador等で活動。

在学中には、国連グローバル・コンパクト日中韓ラウンドテーブル、内閣府青年国際交流事業Ship for World Youth Leaders、日中韓環境大臣会合等に、日本代表青年として参加。今年静岡で開催された第18回日中韓環境大臣会合では、インスタグラム枠を用いたSDGs普及啓発活動を実施した。

北海道へは小学校4年生以来約10年ぶり。ジンギスカンにわくわくしている。

三品 未和さん（酪農学園大学 環境共生学類 2年）



NPO法人ezorockの大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクトで環境保全のボランティア活動を行っています。大学には野生動物について勉強したいと思い入学しましたが、1年生の授業に自然環境に関する授業がありませんでした。

そこで、ただ大学で授業を聞いているという受け身の体制ではいけないと思い、様々な環境活動を行っているezorockで活動を始めました。

赤松 遼太郎さん（東海大学札幌 生物学部 3年）



小さい頃から生き物が好きで、いろんな生き物を観察したり、どんなことを考えているのかを考えるのが好きでした。生き物好きがそのまま中学・高校と続いて、高校では理系の生物を選び、大学でも生物を学びたいというところからここまでできました。

環境について勉強しようと思ったのはすごく最近のことで、今までは自分の好きな生物に関わる仕事をしたいけど、具体的にどんな仕事があるのかわからず、思いつくことと言えば動物園の飼育員くらいというような状態でした。

そんなとき、たまたま参加した「ふくしまキッズ」という活動を通して、ezorockと出会いました。環境というキーワードに対していろんな角度からいろんな手段でアプローチをしていて、活動に参加していく中で、やっぱり自分が環境について詳しくないとその活動の目的や意味を見出せないと思い、環境についてもっと勉強し、深めていきたいと思うようになりました。

☆ワークショップのファシリテータ牧原さんのプロフィール



牧原 ゆりえさん（一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ 代表）

出産を機にサステナビリティに強い関心を持つようになり、4年間のスウェーデン滞在中に2つの修士プログラムを学ぶ。北欧滞在中に得た「自分の暮らしをハッピーにしてくれるサステナビリティに必要な学び」を日本でも伝えるべく、活動中。参加型リーダーシップの実践のグローバルのコミュニティArt of Hosting 日本支部世話人、女性のインナーリーダーシップに気づき慈しむグローバル・プログラムComing Into your own 日本ファカルティ。地方創生のためのグラフィック・ハーベスティング呼びかけ人。

<http://www.sustainabilitydialogue.vision>



←シンポジウム全体は
こちらからご覧ください！

表面のカラフルなロゴの正体とは・・・
2015年9月に国連で採択された世界が目指す
「持続可能な開発目標（SDGs）」です。17の
目標と169のターゲットが設定され、世界が
2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候
変動などの様々な課題に取り組むものです。

【お問い合わせ】

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）担当：大崎

TEL 011-596-0921 FAX 011-596-0931

E-mail epoh-webadmin@epohok.jp